

◆新名神高速道路における6車線化事業の整備効果



◆事業概要

新名神高速道路は名神高速道路と交通機能を適切に分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路(大津～城陽間)建設の滋賀県域:12.2 km及び、甲賀土山～大津間の6車線化事業(28.5km)を担当しています。



◆新名神高速道路(大津～城陽間)滋賀県域:12.2kmの進捗状況

新名神(滋賀県域の新設区間)では、用地取得は、11地区が完了し、1地区で実施中です。進捗率は約98%。埋蔵文化財調査は、80%以上が完了しています。工事は、全ての工事用道路工事を施工中で、本線工事についても、三学区全てにおいて施工中です。

大津市南部の自治会で構成される大津市南部三学区新名神対策協議会においても、早期着手気運醸成があり、安全に留意し、早期開通を目指して、行政・地域の皆さまと一体となって事業を進めています。

また、地域の皆さまとの交流を図るために地域イベントに積極的に参加し、高速道路事業のPR活動を行っています。

◆各地区の進捗状況(令和元年12月1日現在)

区間	進捗率(%)	大津JCT～滋賀県域(12.2km)											
		大津大石工事区(5.8km)				大津田上工事区(3.9km)				大津上田上工事区(2.5km)			
学区名		大石学区(6.4km)				田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)			
自治会名(km)		小田原町 2.1km	龍門町 2.4km	中町 0.4km	東町 1.5km	関津 1.0km	里 0.3km	枝町 0.7km	森町 0.5km	羽栗 0.8km	新免 0.4km	中野町 0.9km	牧町 1.2km
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	幅杭設置	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
用地取得	98	100	100	100	82	100	100	100	100	100	100	100	
埋蔵文化財調査	-	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
工着手	本線	40	◇	◇	◇		◇	◇				◇	◇
	工事用道路	-	◇	◇	◇	-	◇	◇	◇	-	-	◇	◇

読者様からのメッセージ 6車線の道ができたらどんなふうになるか楽しみなので、体に気をつけて元気でいたいと思いました。(61歳・女性)

今回は、「山城谷川橋(下部工)工事」を担当する株式会社ノバックの武市司君さんに工事概要や抱負について聞きました。

インタビュー INTERVIEW

「**安全第一で取り組み 橋梁の完成を目指したい**」

「工事の特色(概要)を教えてください。」

「大津市大石中町から大石龍門町の区間に工事用道路と橋脚4基、橋台2基を施工し、山城谷川橋の下部工を行います。施工する橋脚の高さが約50mあるため、まず仮橋を築造し、橋の上から作業します。現在は工事用道路の整備を実施中で、今後橋脚、橋台を施工していきます。」

「**工事で工夫されていることは?**」

「谷側の急斜面は作業場の確保が難しいため、広範囲をゆるやかに掘削する従来のやり方ではなく、「竹割土留工法」を採用。施



新名神高速道路 山城谷川橋(下部工)工事 監理技術者 武市 司君さん

「**今後の抱負を教えてください。**」

「いよいよ仮橋の工事が始まります。重要な構造物に携わることができ、やりがいを感じるとともに、いっそう気を引き締め、安全第一に努めます。地域住民のみならず、皆さまから様々な意見を聞きながら、誠意を持って取り組んで参ります。」

「**工箇所周囲を少しづつ掘ってその都度土をアンカーで固定していき、直径10mの深礎杭を打ってその上に橋脚を築きます。環境面では掘削した土砂の管理、川の中心に杭を打つ際は河川の切り回しが必要なので大雨や濁水対策も万全に行います。また、林道の上を橋が横断するため慎重に工事を進めています。**」

「インタビュー」の記事の川端さんの言葉に感銘をうけました!笑顔もとてもステキでした!(46歳・女性)

「上田上学区・田上学区・大石学区」の文化祭に参加

当事務所では地域交流を通じて、新名神事業及び今後の工事等へのご理解を深めていただくとともに、NEXCO西日本を身近に感じていただくために、地元の方々が集まる三学区の文化祭に今年も参加しました。

各文化祭では、新名神大津SA／スマートIC模型や橋梁模型及び事業説明のパネルを展示し、事業及び工事について紹介しました。また、NEXCOグループが高速道路の美化等のため生産している草花の配布、トンネルやアーチ構造の仕組み等について学べるコーナー、新名神高速道路のマスコットキャラクター「しんめちゃん」との記念撮影、道路パトロールカーの展示等も行いました。いずれも多くの方にお越しいただき、本事業について親しみとご理解を深めていただくよい機会となりました。今後も地域の皆さまと交流を図れるイベントを大切にしていきたいと考えています。



「新名神高速道路田上山のり面対策検討会(第4回)」の開催

10月15日(火)、滋賀県の田上山で過去に行われた砂防事業の成果に配慮した道路のり面の施工方針を検討する「新名神高速道路田上山のり面対策検討会(第4回)」を開催しました。当日は学識経験者、田上山砂防協会の皆さまに参加いただき、硬岩部のり面の緑化を行っている試験施工地の状況確認や、国産の在来種による緑化方法等について検討を行いました。今後もNEXCO西日本では、田上山砂防事業のこれまでの取組みに配慮しながら、工事を進めてまいります。



「滋賀けんせつみらいフェスタ2019」に参加

10月19日(土)、建設産業の魅力を発信するイベント、「滋賀けんせつみらいフェスタ2019」に今年も滋賀県と共に参加しました。訪れた方々に、新名神大津事務所において実施している事業について紹介し、今後完成予定である新名神高速道路の走行を模擬体験できるドライブシュミレーターを楽しんでいただきました。



高速道路上にこのような標識を置いているのを知っていますか？



この標識は、逆走をしてしまいそうな車両へ注意を呼び掛けるための標識です。

NEXCO西日本では、高速道路の逆走を防ぐため、さまざまな取組みを行っています。

全国の高速道路では、おおむね2日に1回の頻度で逆走が発生しています。

逆走事案の約6割は、インターチェンジとジャンクションで発生しています。

高速道路に入るときや分岐点では、案内標識や路面に書かれている文字・矢印の向きをよく確認して走行をお願いします。

前方に逆走車を発見した際は、周りの状況を確認し、速度を落として逆走車と違う車線側にできるだけ早く車を寄せます。同乗者がいれば、携帯電話から#9910で逆走車について通報してください。